

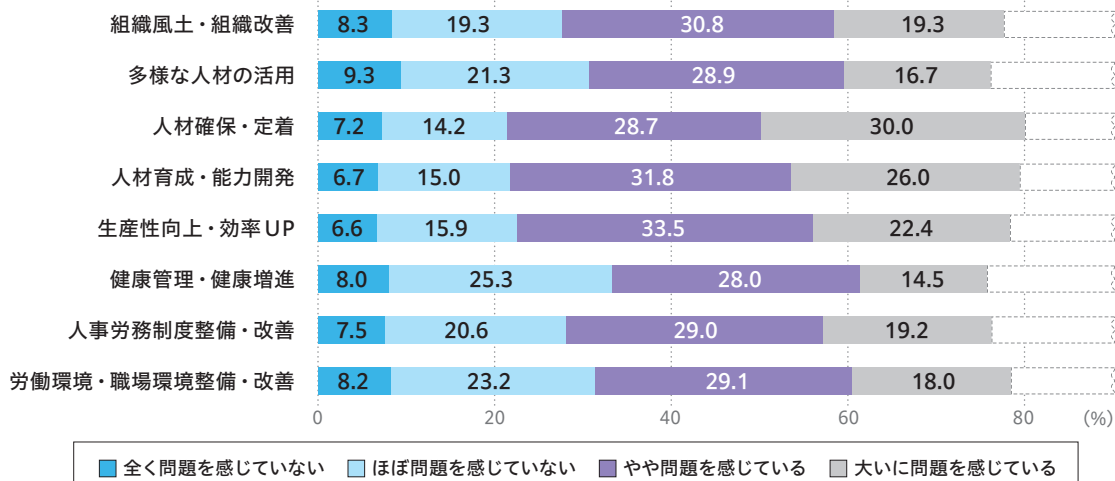
一般社団法人すこやか職場 「お仕事に関するアンケート」結果

調査対象	全国の経営者、役員、管理職、一般社員
調査方法	インターネット
有効回答数	8,498人
調査時期	2025年1月9日～1月17日

問題を感じている人の割合が最も低かった 職場の要素は〈健康管理・健康増進〉

42.5%

仕事や職場に対する意識（「わからない」「答えられない」を除く）（n=8,498）



今回は、「日本の職場をすこやかな職場（＝リソースフルな職場）に」をモットーに、働き方や職場マネジメントに関する情報の収集・発信、調査研究等を行なっている（一社）すこやか職場が実施した「お仕事に関するアンケート」の結果から、仕事や職場に対する意識についてみたい。

リソースフルな職場づくり に必要な8つの要素

（一社）すこやか職場によれば、“すこやかな職場＝リソースフルな職場”（以下、リソースフルな職場）とは、社員1人ひとりが能力を最大限発揮できる職場のこ

と。その“リソースフルな職場”づくりに必要な要素として、〈組織風土・組織改善〉〈多様な人材の活用〉〈人材確保・定着〉〈人材育成・能力開発〉〈生産性向上・効率UP〉〈健康管理・健康増進〉〈人事労務制度整備・改善〉〈労働環境・職場環境整備・改善〉の8つを挙げている。

調査では、以上の8つの要素を切り口に回答者自身の仕事や職場について尋ねている。

取り組みやすい要素は 〈健康管理・健康増進〉

8つの要素について、総じて、「やや問題を感じている」「大いに

問題を感じている」と回答した人が多い。双方を合わせた比率では、〈組織風土・組織改善〉〈人材確保・定着〉〈人材育成・能力開発〉〈生産性向上・効率UP〉が過半数に達していた。

その他の要素でも、問題を感じている人が感じていない人よりも多く、“リソースフルな職場”にはほど遠いようだ。そういうなかであって、問題を感じている人が42.5%と最も低かった〈健康管理・健康増進〉は、“リソースフルな職場”づくりを目指すなら、取り組みやすい要素なのかもしれない。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）